

ニュース済生

THE NEWS SAISEI

発行所 社会福祉法人 済生会
 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビルディング21F 〒108-0073
 電話 03-3454-3311
 FAX 03-3454-5576
 編集兼発行人 炭谷 茂

https://www.saiseikai.or.jp/

新型コロナ 病院・施設は「綱渡り」 緊張の連続と蓄積する疲労

新型コロナウイルスの感染急拡大により国は4月7日、7都府県を対象に緊急事態宣言を発令した。感染は全国的に広がり、対象地域以外の自治体でも緊急事態に準じた態勢を取るなど戦後最大の危機を迎えた。「コロナとの戦争」の最前線にある済生会の病院では、全職員が感染への恐怖と隣り合いながら不休で業務を続けている。

各病院では、作成した感染症マニュアルを全職員に徹底。入院患者の面会を全面禁止し、外来患者の入り口に職員を配置して発熱トリアージを実施したうえ発熱患者専用の動線を設けている。職員は出勤時に体温を測定して結果を所属長に報告。院内ボランティアの活動も中止で、日常の業務も飛躍的に増大している。

各福祉施設では、入居者・利用者を守るため様々な工夫を凝らして対応しているが、こちらでも各職員の業務量は格段に増加している。

本部事務局に設置された「新型コロナウイルス緊急対策本部」(本部長・炭谷茂理事長)のもとでは、4月10日現在、全国82病院のうち47病院で感染が疑われる患者268人を診察。11病院でPCR検査の陽性患者33人を受け入れた。このうち11人は退院、9人が感染症指定病院に転院、13人が入院している。

〈大阪〉中津病院では、高熱のため救急を受診した70代女性に肺炎の所見があった。渡航歴などはなかったが、担当医師は感染を疑いPCR検査を実施。陰性となったものの医師は「疑いは濃厚」と判断し、陰圧室での入院を継続し、翌日、再検査を依頼したところ陽性と判明。感染症指定病院に転送された。

済生会の感染症病床は合計38床だが、これ以外に中等・軽症の患者に対応した病床を確保するよう多くの病院が自治体から求められている。また、ドライブスルー方式の接触者外来設置を要請され、職員駐車場に仮設テントを設営した病院もある。

福祉施設でも様々な感

告。院内ボランティアの活動も中止で、日常の業務も飛躍的に増大している。

各福祉施設では、入居者・利用者を守るため様々な工夫を凝らして対応しているが、こちらでも各職員の業務量は格段に増加している。

本部事務局に設置された「新型コロナウイルス緊急対策本部」(本部長・炭谷茂理事長)のもとでは、4月10日現在、全国82病院のうち47病院で感染が疑われる患者268人を診察。11病院でPCR検査の陽性患者33人を受け入れた。このうち11人は退院、9人が感染症指定病院に転院、13人が入院している。

〈大阪〉中津病院では、高熱のため救急を受診した70代女性に肺炎の所見があった。渡航歴などはなかったが、担当医師は感染を疑いPCR検査を実施。陰性となったものの医師は「疑いは濃厚」と判断し、陰圧室での入院を継続し、翌日、再検査を依頼したところ陽性と判明。感染症指定病院に転送された。

済生会の感染症病床は合計38床だが、これ以外に中等・軽症の患者に対応した病床を確保するよう多くの病院が自治体から求められている。また、ドライブスルー方式の接触者外来設置を要請され、職員駐車場に仮設テントを設営した病院もある。

福祉施設でも様々な感

染防止策を実施。〈山形〉特養なごまち荘では、家族でも入居者との面会を禁止。画像通信 Skype を設置し、入居者と各家族をつないだ。設備のない家族には施設に向かい

高熱のため救急を受診した70代女性に肺炎の所見があった。渡航歴などはなかったが、担当医師は感染を疑いPCR検査を実施。陰性となったものの医師は「疑いは濃厚」と判断し、陰圧室での入院を継続し、翌日、再検査を依頼したところ陽性と判明。感染症指定病院に転送された。

済生会の感染症病床は合計38床だが、これ以外に中等・軽症の患者に対応した病床を確保するよう多くの病院が自治体から求められている。また、ドライブスルー方式の接触者外来設置を要請され、職員駐車場に仮設テントを設営した病院もある。

福祉施設でも様々な感

特養などで働く介護職員の確保に向け、静岡県済生会は、令和2年度から介護専門学校に通う学生に対し、奨学金を貸与する事業を開始した。対象は外国人も含み、特養の「小鹿苑」と「小鹿なでしこ苑」では、卒業後、当該施設に就職することを前提に2年間の奨学金を4月中に各1人に貸与する予定。

背景には、深刻な介護人材の不足がある。県済生会は、通年採用の導入や福祉コースのある県内高校へ求人活動を拡大するなど取り組みを行ってきたが、ここ数年は採用計画に届かず欠員状態が続き、採用計画に届かず欠員状態が続いている。

そのため早い時期から人材確保を図ろうと、介護専門学校生への奨学金貸与を決めた。法人の定款にも公益事業として「奨学金貸与事業」が正しく追加記載された。

県済生会は将来的に奨学金貸与事業を薬剤師等にも広げ医療人材の確保にもつなげていく考えだ。

〈静岡支部事務局 次長 菊地 潔

近年、医療機関へのサイバー攻撃が増加していることを受け、本部は被害に備えるため、4月に従来の個人情報保護保険から全支部・施設を対象とした「サイバーリスク保険」に切り替えた。

同保険は、サイバー攻撃による被害が発生した際の原因調査、システム復旧・修理、再発防止の

高熱のため救急を受診した70代女性に肺炎の所見があった。渡航歴などはなかったが、担当医師は感染を疑いPCR検査を実施。陰性となったものの医師は「疑いは濃厚」と判断し、陰圧室での入院を継続し、翌日、再検査を依頼したところ陽性と判明。感染症指定病院に転送された。

済生会の感染症病床は合計38床だが、これ以外に中等・軽症の患者に対応した病床を確保するよう多くの病院が自治体から求められている。また、ドライブスルー方式の接触者外来設置を要請され、職員駐車場に仮設テントを設営した病院もある。

福祉施設でも様々な感

高松宮記念基金にご協力ください

令和2年1月～3月分実績

- ◎本会会員加入状況

36,630人	79.9%
40,996口	8,199万円
- ◎外部会員加入状況

1名	6千円
----	-----
- ◎一時寄付状況

12件	18万円
(内、自販機関係)	6万円
- ◎募金箱

	31万円
--	------

てもらい、別室から居室と結んだ。

全国的に感染症対策の医療物資が枯渇している。このため対策本部は、主要取引銀行の三井住友銀行から取引先のサージカルマスク製造のNST社の紹介を受け、支部・施設に医療用マスクの購入希望を募った。4月9日現在、46の支部・施設から計25万枚の希望が寄せられた。

〈広報室

介護専門学生に奨学金 静岡 職員不足解消めざし

特養などで働く介護職員の確保に向け、静岡県済生会は、令和2年度から介護専門学校に通う学生に対し、奨学金を貸与する事業を開始した。対象は外国人も含み、特養の「小鹿苑」と「小鹿なでしこ苑」では、卒業後、当該施設に就職することを前提に2年間の奨学金を4月中に各1人に貸与する予定。

背景には、深刻な介護人材の不足がある。県済生会は、通年採用の導入や福祉コースのある県内高校へ求人活動を拡大するなど取り組みを行ってきたが、ここ数年は採用計画に届かず欠員状態が続いている。

そのため早い時期から人材確保を図ろうと、介護専門学校生への奨学金貸与を決めた。法人の定款にも公益事業として「奨学金貸与事業」が正しく追加記載された。

県済生会は将来的に奨学金貸与事業を薬剤師等にも広げ医療人材の確保にもつなげていく考えだ。

〈静岡支部事務局 次長 菊地 潔

守山市民病院に新館 滋賀県初の練習ロボットも

平成30年4月に済生会の運営となった〈滋賀〉守山市民病院に、4月1日、新館がオープンした。鉄骨造4階建て延べ床面積約3600㎡。1階が健診センター、内視鏡センター、1300人を収容できる「くすの木ホール」。2階は回復期リハビリテーション病棟。3階には県内初導入の歩行練習支援ロボット「ウェルウォーク」や、40メートルトラック、安全懸垂装置など最先端の設備を

設置したリハビリテーションセンターが入る。4階の渡り廊下で本館とつながっている。

同院は済生会に移管後、一般急性期医療も継続しながら、隣の栗東市にある済生会滋賀県病院が高度救急・急性期機能を、その後の治療やリハビリ診療を守山市民病院が担う機能分化を進めてきた。昨年12月には47床の回復期リハビリテーション病棟の運営を開始し、令和3年度初めには100床まで増床する予定。地域のニーズに対応し、質の

法人HPに動画 各施設で活用を

済生会ホームページのトップに3月31日から約45秒間の動画が加わった。生活に困っている人たちの世界をモノトーンで表し、薄暗い世の中を少女(済生会)が駆け抜けていくと明るく温かく変わっていくというコンセプトだ。

この動画は病院の待合室モニターに映したり、新入職員向けオリエンテ

融資は、それを待たずに資金不足が見込まれる施設に対し、銀行からの借り入れが実行されるまでの間、一時的に法人内で貸付を行なう。

財源は「経営基盤強化資金」を特例的に転用するもので、支部を経由して貸し付ける。詳細は本部経営管理課まで。

居室2部屋など。2階には4・5畳の個室が4室5畳の個室が2室。民間の新築物件を賃借した。小学生から高校生までの6人が、当直も行う4人の職員と暮らす。

3月28日の開所式には鎌田地区の自治会長らも参加。影山武司支部長から建物オーナーの富田君子さんと(株)大成住宅に感謝状が贈られた。

「済生」5月号に同施設の詳細が掲載される予定。

〈川奈臨海学園 済生記者 鈴木 一太

無利息で資金繰り支援

新型コロナウイルス感染症への対応で資金繰りが悪化した施設を支援するため、対策本部は緊急融資制度を設置した。

通常、施設が運転資金を銀行から借り入れる場合、原則として年3回(3、6、10月)に開かれる法人理事会の承認が必要となる。今回の緊急

5月の予定

26日 施設運営委員会(本部、開催方式は未定)

北海道済生会
 西小樽病院みどりの里施設長
 新任 堤 裕幸 4・1
 退任 工藤 亨 3・31

山形県済生会
 特別養護老人ホーム山静寿施設長
 養護(直)老人ホーム山静寿施設長
 新任 月澤浩一 4・1
 退任 武田吉美 3・31

(2面へつづく)

高い医療提供体制と地域包括ケアシステムの構築を目指す。

〈守山市民病院 済生記者 中嶋元香

静岡には地域小規模児童養護施設わかな開設

済生会唯一の児童養護施設・川奈臨海学園を運営する静岡済生会は4月1日、「地域小規模児童養護施設わかな」を伊東市に開設した。

児童養護施設は保護者がいない、いても虐待や貧困などによって家庭で養育できない子どもたちの生活を支援する。平成28年の児童福祉法の改正では、「新しい社会的養育ビジョン」として、子どもが権利の主体であること、子どもの家庭養育優先の原則が明記され、児童養護施設にも家庭的環境の整備が求められる。このため川奈臨海学園は新たに地域小規模児童養護施設わかなを計画、直線で約5キロの伊東市鎌田地区に開設した。木造2階建て、延床面積146㎡。1階は16畳のリビングダイニングとキッチン、浴室、職員用の

宇都宮病院へ) 1000万円
 (宇都宮病院へ) 500万円
 埼玉済生会 協和歯車製作所 500万円
 (川口総合病院へ) 500万円
 大阪府済生会 杉立恭平殿 291万円
 (中津病院へ) 53万円
 吉野美佐子殿 53万円
 (大阪乳児院へ) 53万円
 鳥取県済生会 河内哲夫殿



この動画は病院の待合室モニターに映したり、新入職員向けオリエンテ

融資は、それを待たずに資金不足が見込まれる施設に対し、銀行からの借り入れが実行されるまでの間、一時的に法人内で貸付を行なう。

財源は「経営基盤強化資金」を特例的に転用するもので、支部を経由して貸し付ける。詳細は本部経営管理課まで。

この動画は病院の待合室モニターに映したり、新入職員向けオリエンテ

融資は、それを待たずに資金不足が見込まれる施設に対し、銀行からの借り入れが実行されるまでの間、一時的に法人内で貸付を行なう。

財源は「経営基盤強化資金」を特例的に転用するもので、支部を経由して貸し付ける。詳細は本部経営管理課まで。

新任施設長の抱負



野間重孝

昭和29年生まれ。東京都出身。55年慶応義塾大学医学部卒。59年同大学院修了。平成4年宇都宮病院循環器内科医長。24年副院長。令和2年4月院長、宇都宮病院看護専門学校校長に就任。



原全

昭和36年生まれ。東京都出身。61年慶應義塾大学医学部卒、同皮膚科学教室入室。平成8年中央病院皮膚科医長。17年慶應義塾大学専任講師(医学部皮膚科学)、22年同准教授、29年慶應義塾大学病院診療科部長(皮膚科)を経て、31年中央病院副院長、令和2年4月院長に就任。

員一丸となって頑張ります」



荒木勉

昭和38年生まれ。福井県出身。昭和63年金沢大学医学部卒、同大学内科学入局。平成4年金沢大学大学院卒。16年金沢病院入職。20年診療部長。31年副院長。令和2年4月院長に就任。

います。これからも全職員一致協力し地域に貢献してまいります」



谷中敏

昭和32年生まれ。兵庫県出身。58年大阪大学医学部卒、循環器内科専攻。大阪警察病院、国立循環器病センター、米國・クリフランドクリニック、大阪大学医学部教授を経て令和2年4月院長に就任。

隣の医療・福祉施設と連携を深め、地域包括ケアシステムが機能できるように貢献してまいります」



藤野克也

昭和59年自治医科大学医学部卒、高野町立高野山病院、大塔村地診療所、和歌山県立医科大学病院教授を経て、平成28年有田病院院長補佐兼副院長兼消化器病センター長。令和2年4月院長に就任。

働き甲斐があり希望の持てる病院を目指します」



塩出純二

昭和27年生まれ。岡山県出身。53年自治医科大学医学部卒。岡山県内の地域医療に従事した後、62年岡山大学第一内科入局。平成元年岡山済生会総合病院内科医長、20年副院長、令和2年4月院長に就任。

地域に信頼される病院をつくらせてまいります」



難波洋一郎

昭和30年生まれ。岡山県出身。55年岡山大学医学部卒、同大学脳神経外科入局。60年ニューヨーク大学医療センター留学。平成24年国立病院機構岡山医療センター診療部長。30年吉備病院副院長、令和2年4月院長に就任。

「当院は平成28年1月に一般外来部門を切り離し、救急と入院に特化した病院として新築移転するなど、急性期医療に重点を置く体制になりました。この特性を生かしながらがん診療、専門医療の質を高め、地域から最も信頼される病院になるよう職員一丸となって務めてまいります」

「一面からつづく」
岡山県済生会
支部長 小林健二 4・1
新任 近藤真寿 3・31
宇都宮病院名譽院長 宇都宮 小津健二 4・1

石川県済生会
新任 荒木 勉 4・1
新任 横川明男 3・31
福井県済生会
新任 福井県済生会乳児院院長 福井 橋本幸代 4・1
新任 村田 実 3・31

岡山県済生会
岡山済生会総合病院名譽院長 岡本和秀 4・1
新任 塩出純二 4・1
新任 山本和秀 3・31

昭和34年生まれ。宮城県出身。昭和58年群馬大学医学部卒。平成5年前橋病院入職。10年同消化器内科部長。21年副院長。令和2年4月院長に就任。「当院は前橋市西部にある地域医療支援病院です。昨年の地域医療構想の病院再編・統合では、実名が公表されました。当院は白血病や消化器癌の治療など特徴をもった専門病院です。地域医療構想会議でも類似・近接病院ではカバーできない実績を評価されています。今後も地域になくてはならない病院を目指し、職

昭和37年生まれ。新潟県出身。62年新潟大学医学部医学科卒。新潟大学医学部附属病院、秋田赤十字病院、労働福祉事業団燕労炎病院勤務を経て平成10年三条病院消化器内科医長。22年診療部長。25年副院長。29年副院長兼医療安全部長。令和2年4月院長に就任。「当院は昭和18年に開院。長きにわたり地域との交流を中心に据え診療を行なっており、地域医療の中核を担う病院となっ

昭和38年生まれ。兵庫県出身。58年京都府立医科大学卒業、同大学第三内科(消化器内科)入局。平成8年吹田病院内科医長、14年消化器内科部長、23年消化器内科統括部長、26年副院長を経て令和2年4月院長に就任。「当院は終戦直後の昭和20年10月に吹田市民有志の寄付で旧吹田町役場跡に開設、現在は440床の地域医療支援病院に発展しました。これからも急性期医療で高いレベルを維持するとともに、近

昭和33年生まれ。大阪府出身。58年奈良県立医科大学医学部卒、同大学第一外科入局。平成元年米国・ピッツバーグ大学留学。5年独逸・ハノーバー医科大学留学。奈良県立医科大学助教を経て平成18年奈良病院外科部長。23年副院長。令和2年4月院長に就任。「当院は奈良県北部に位置し、急性期・回復期リハビリ・地域包括ケア病棟を有し、訪問とケアプランセンターを併設しています。医療・介護・福祉サービス切れ目なく提供し、地域住民に信頼され、満足いただける病院、また職員にとっても

昭和30年生まれ。和歌山県出身。55年和歌山県立医科大学医学部卒、同大学整形外科教授を経て平成4年アイオワ大学脊髄診断治療センター留学。27年和歌山県立医科大学紀北分院院長。令和2年4月和歌山病院院長に就任。「当院は急性期一般病棟、回復期リハビリテーション病棟を有する地域の中核病院です。災害・救急・主要疾病に対応するための地域の拠点病院、高度急性期病院を補完できる支援体制を維持します。医療を取り巻く環境が厳しい中、職員一丸となって

昭和34年生まれ。東京都出身。60年岡山大学医学部卒。平成元年岡山大学医学部入職。3年岡山済生会総合病院入職。令和2年4月院長に就任。「当院は、平成28年1月に岡山済生会総合病院の外來部門として分離、30年9月に同院の80床を地域包括ケア病棟として譲り受け、岡山済生会外來センター病院となりました。外來は高度専門医療の提供、入院は在宅医療の後方支援が当院の使命です。日々変化を遂げる医療環境に岡山済生会総合病院と共に立ち向か

昭和32年生まれ。大分県出身。57年順天堂大学医学部卒、同年九州大学第3内科入局。平成14年福岡病院副院長、24年福岡市医師会成人病センター院長、30年二日市病院院長代行。令和2年4月に院長に就任。「当院は、福岡市に隣接する筑紫医療圏にある唯一の公的病院として急性期医療に貢献してまいりました。今年度から『患者さんのため、一人ひとりの価値観を尊重し、信頼される医療を目指し、』という新理念を掲げ、医療の質と経営改善を目指します」

新潟県済生会
新任 坂内 均 4・1
新任 近藤 弘 4・1
新任 木村善行 3・31
などしこ青空保育園園長
新任 大谷久美子 4・1
新任 堀内恵子 3・31
などしこワークス施設長
新任 北村純夫 4・1

和歌山県済生会
新任 伊藤秀一 4・1
新任 長崎靖彦 3・31
和歌山病院名譽院長 授与 松崎 文 4・1
和歌山病院院長 新任 川上 守 4・1
新任 松崎 文 3・31
授与 伊藤秀一 4・1
有田病院院長 新任 瀧藤 克也 4・1
新任 伊藤秀一 3・31

福岡県済生会
二日市病院名譽院長 授与 間野正衛 4・1
二日市病院院長 新任 壁村 哲平 4・1
新任 間野正衛 3・31
大分県済生会
支部長 新任 西村 寛 4・1
新任 西田 敬 3・31
(抱負)は次号に続く



吉永輝



坂内均



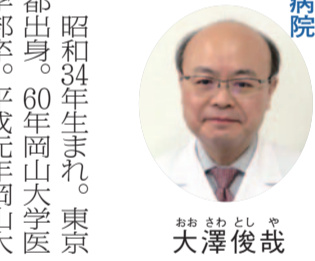
島英



永倫



川上守



大澤俊哉



壁村哲平

「今年度から新しく『ビジョン2024』新しい100年に向かって、日本一の病院力をめざして」を策定。実行に向けて、職員一同で精進してまいります。病院力を高め、保健・医療・福祉の広い観点からあらゆる方々を支えていく病院をめざしてまいります」

「当院は一般、地域包括ケア、回復期リハビリ、緩和ケアの各病棟、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を有し、金沢市の西部地域で急性期から回復期、そして在宅医療との連携まで、切れ目のない医療を提供しています。済生会の誇りを持って、笑顔で患者さんに接することができるよう、さらなる職場環境の改善と経営の健全化を目指します」

「救命救急センターを有する当院は、大阪府がん診療拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院です。今後も全職員が一丸となって、質の高い地域医療・救急医療を行なってまいります」

「当院理念『心のこもった良質の医療・介護・福祉サービスを実現し、地域に貢献する』を基本に、有田医療圏に必要なものは何か、何をすべきか、職員一人ひとりが行動目標を持って、明るく楽しい職場環境のもと、皆が一体となって活躍できるような病院に成長したいと考えています」

「当院は平成28年1月に一般外来部門を切り離し、救急と入院に特化した病院として新築移転するなど、急性期医療に重点を置く体制になりました。この特性を生かしながらがん診療、専門医療の質を高め、地域から最も信頼される病院になるよう職員一丸となって務めてまいります」

「当院は、福岡市に隣接する筑紫医療圏にある唯一の公的病院として急性期医療に貢献してまいりました。今年度から『患者さんのため、一人ひとりの価値観を尊重し、信頼される医療を目指し、』という新理念を掲げ、医療の質と経営改善を目指します」

「当院は、福岡市に隣接する筑紫医療圏にある唯一の公的病院として急性期医療に貢献してまいりました。今年度から『患者さんのため、一人ひとりの価値観を尊重し、信頼される医療を目指し、』という新理念を掲げ、医療の質と経営改善を目指します」

東京都済生会
新任 徳宿 一 4・1
新任 大柳直哉 3・31
新任 川上 博美 4・1
新任 神八啓二 3・31
山口県済生会
介護老人保健施設ひびき 苑施設長 新任 阪田健介 4・1
新任 黒木信善 3・31

奈良県済生会
新任 久永倫聖 4・1
新任 瀨川雅数 3・31
和歌山県済生会
新任 兼頭篤志 4・1
新任 村上 正 3・31

岡山県済生会
新任 山本和秀 4・1
新任 難波洋一郎 4・1
新任 坪井雅弘 3・31
岡山済生会看護専門学校 校長 新任 山本和秀 4・1
新任 濱家一雄 3・31